

(別紙4(2))

事業所名 グループホームもくせいの家

作成日: 平成 29年 2月 17日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	グループホームの職員として、専門性を活かしたケアの向上。	各職員がグループホームの役割を意識することで、その為に自分達が何を学び行わなければならないか目的、目標が明確になり、必要な知識・技術の向上へとつなげる。その結果グループホームとしての専門性あるケアを提供できるようになる。	管理者が職員と面会を行う機会を年一回から二回に増やし、日々のケアの評価、地域包括ケアシステム内での位置付けも含めたグループホームとしての役割を伝える。 サービスを提供するにあたっての基本姿勢でもある「接遇」意識を、毎月行われる職員会議内での研修、日々の教育で高める。	12ヶ月
2	12	職員不足の改善。	就職希望の方や職員に、やりがい、スキルアップ、ワークライフバランスを保った働き方で家も仕事も充実する、という魅力を感じていただき、継続的な採用につなげる。	施設運営を安定させ、人材確保にも投資できるようにする。そのためにはもくせいの家サービスの質を上げ、幅広いニーズに応えながらご利用していただく。その為にも優先順位①の目標を達成する。新人・在職含めた職員教育システムの充実化を図る為、マニュアルの再整備を行う。	12ヶ月
3	2	近隣に新しい住宅街があるが、交流機会が少ない。	近隣住宅街と協力した防災の仕組みを作る。 利用者の方が地域貢献できる取り組みを行う。	もくせいを家の広報誌を回覧板に入れて知名度を上げる。 利用者と一緒に近隣住宅街にある公園掃除や草取りなどを行い、住人の方と交流を図る。 施設の防災訓練を行う際、近隣住宅街の方に協力していただくよう依頼する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。